

2024年度 輸送安全マネジメントの取組状況

グリーン観光株式会社
安全マネジメント委員会

我が社は、安全・安心を第一の目標にあげて日々業務を行っております。事務所から乗務員をはじめ役員が同じ目標をもって、情報収集、情報共有を行うとともに、より一層の安心・安全性の向上に努めて参ります。

旅客自動車運送事業運輸規則第47条の7の規定に基づき当社は、次のことを公表します。

1. 輸送の安全に関する基本的な方針

- (1) 輸送の安全は我が社の根幹
- (2) 我社は毎年無事故・無違反
- (3) 安全確保は安全と法令順守
- (4) 安全に関する教育指導の徹底
- (5) 社長は、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く理解し、従業員に輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底させ、また、社内において輸送の安全確保に主導的な役割を果たします。
- (6) 安全マネジメントを確実に実施し、全従業員が一丸となって業務を遂行することにより、絶えず輸送の安全性向上に努めます。
- (7) 輸送の安全に関する情報を積極的に公表します。

2. 2023年度輸送の安全に関する目標の達成状況及び事故に関する統計

	目標	結果	達成可否
重大事故	0	0	達成
人身事故	0	0	達成
上記の有責事故	0	0	達成
物損事故	0	0	達成
上記の有責事故	0	0	達成
運転手の健康起因	0	0	達成
途中故障又は運行中断	0	0	達成

3. 2024年度輸送の安全に関する目標

- (1) 人身事故ゼロの継続
- (2) 物損事故ゼロの継続
- (3) 車内事故ゼロの継続
- (4) 車両故障ゼロの継続
- (5) 違反ゼロの継続

4. 行政処分の公表

(1) 当社は、処分を受けていません。

5. 重大事故に関すること

(1) 当社は、重大事故を起こしていません。(前年度の重大事故もなし)

6. 輸送の安全のために講じた措置及びこうじょうとする措置

(1) 安全に対する取り組み

- ・ 点呼時に安全目標の再確認を必ずすることで安全に対する意識の徹底を図っています。
- ・ 帰庫時にヒヤリハットがなかったかどうかを聞くとともに、あった場合には乗務員にすぐに共有できるようにしています。
- ・ 社長(安全総括管理者)と安全管理者、運転手代表と会議をして、輸送の安全に関する問題点や改善すべき点を話し合いで決めています。

(2) 安全運転のための取組

- ・ 健康診断を年2回おこなっています。また、以上があった場合には1カ月以内に再診をするようにしています。
- ・ 年1回睡眠時無呼吸症候群の検査をして、運転手の健康管理に努めています。
- ・ 日常点検と定期点検を徹底して行うことで、故障を事前に防ぐように努めています。

(3) 乗務員の教育計画

- ・ 別紙に定めたように乗務員への安全教育を徹底して行っています。
- ・ 地元消防署と連携して定期的に AED 操作訓練を実施しています。
- ・ 健康チェックの本を作成して、自分の体調をチェックすることとともに、気を付けていかななくてはならないことを事前に把握できるようにしています。
- ・ 安全マネジメントの講習や他団体の主催する講演会に積極的に参加することで、最新の情報を採取するとともに、安全の向上に努めています。

7. 郵送の安全にかんする内部監査結果及びそれを踏まえた措置

実施日 : 令和6年2月11日～21日

監査員 : 櫻井 孝則(安全マネジメント講習受講済み)・本多 繁雄(運転手代表)

監査結果 : 修理・部品の伝達や発注が遅れがちなので、伝達経路を再確認。

役員から従業員までの伝達に関しては問題ないので引き続き継続する。

ヒヤリハット事例が少ないと感じたのと、同じ事例が発生したので改善しなくてはならない。

8. 安全総括管理者

安全総括管理者 代表取締役 青木 重男

9. 安全管理規定

別紙参照

2024年度

年間教育計画表

会社名	指導主任者	
グリーン観光株式会社	青木 重男	青木 功

グッドラーニング！講座名	講座内容 ※一般的な指導及び監督の指針の該当項目	受講開始日	受講終了日
安全講座1 バスを運転する心構え	(1) バス事業の社会的役割 (2) バスによる交通事故発生状況 (3) 模範となる運転者としての心構え	5月	
安全講座2 バスの運行の安全、乗客の安全を確保するために遵守すべきこと	(1) バス運行に係る法令 (2) 日常点検 (3) 点呼	5月	
安全講座3 バスの構造上の特性	(1) バスの特性に合わせた運転 (2) バスの内輪差 (3) バスの内輪差	6月	
安全講座4 乗車中の乗客の安全を確保するために留意すべき事項	(1) 車内事故の防止 (2) 乗客の安全を守る (3) 災害発生時の対応方法	6月	
安全講座5 乗客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項	(1) 乗降時の安全の確保 (2) 高齢者転倒の危険性	7月	
安全講座6 運行路線・経路における道路及び交通の状況	(1) 適切な運行経路選択の必要性 (2) 異常気象情報とそれに基づく対応 (3) ヒヤリハット情報の共有	7月	
安全講座7 危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法	(1) 「見る」ことの重要性と限界 (2) 見える危険と見えない危険 (3) 危険予測ポイント (4) 指差呼称と呼称運転	8月	
安全講座8 運転者の運転適性に応じた安全運転	(1) 適性診断のねらい (2) 適性診断の種類 (3) 適性診断のテスト内容 (4) 適性診断結果の活用方法	8月	
安全講座9 交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因とこれらへの対処方法	(1) 過労状態の常態化 (2) 過労運転の防止策 (3) 飲酒運転の危険性 (4) 飲酒運転に対する罰則	9月	
安全講座10 健康管理の重要性	(1) 健康起因事故 (2) バスドライバーが注意すべき症状 (3) 健康管理のポイント	10月	
安全講座11 安全性の向上を図るための装置を備えるバスの適切な運転方法	(1) 運転支援装置の過信は禁物 (2) 運転支援装置の誤った使い方 (3) 道路の最先端技術	12月	
安全講座12 ドライブレコーダーの記録を活用したヒヤリ・ハット体験等の社内内での共有	(1) 「左折時自転車巻き込み」 (2) 「雪道での漫然運転」 (3) 「先急ぎのヒヤリハット」	1月	
自社で定める項目	実施内容	開始日	終了日
ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の運転特性に応じた安全運転	ドライブレコーダーの記録により加速装置、制動装置及びかじ取装置の急な操作の有無並びに車間距離の保持その他の法令の遵守状況等を確認する	2月	

10. 緊急時連絡体制

別紙参照

事故処理体制図

